

地域交流行事 - 地域の包括的支援に向けて -

NPO 法人 にんじんの家
代表理事 田坂裕子

1. 地域交流会行事の実施

NPO 法人にんじんの家は、知的障害者の生活介護（日中支援）と共同生活介護（ケアホーム）を運営する事業所です。また、「障がい者に関する地域への啓発をする事業」の活動も行っています。その活動の中で、「開かれた施設」をめざし、これまで地域住民の方と様々な交流を行ってきました。具体的な例としては、市内学校の児童生徒の実習受入れ、親子での畑作業の体験活動、地域のお祭り参加などです。

しかし、障がい者理解をすすめる活動は、課題が多く、障がい者と自然に交流する機会があまりにも少ないのが現状です。今回ご紹介する地域交流行事（平成 25 年 12 月 14 日）は、地域の方との交流の輪をさらに広げることを目的に開催しました。

地域交流行事は同日 2 部構成で行われ、第 1 部の地域交流会では、施設利用者が司会を行い、劇団による演劇、近隣の中学校生徒によるダンスやコーラス、などを観ながら楽しみを共有する場を設けました。続いて第 2 部の収穫祭では、活動している畑の収穫野菜を利用した食事を用意し、地域住民の方々と食を共にしながら語り、相互理解を深める機会をつくりました。

2. 活動の成果

近隣の小中学校、町会・民生委員の方、特別支援学校生徒さんへ案内を配布しました。他の障がい者団体・ボランティア団体、子育て支援センターからも参加希望があり、多くの方に来ていただくことができました。延べ約 280 名の方に参加していただき、予想以上の大盛況の会となりました。

小さなお子さん連れのお母さんや学校の生徒さんたちから「このような会は初めてだったけど、楽しかった。続けてほしい。」、地域住民の方々や他団体の方から「今後は一緒にやりましょう。協力します。」と声をかけていただき、新たな出会いが生まれました。今後もこうした活動が、障がい者理解に留まらず、高齢者や子育て支援も含めた地域の包括的支援へつながっていくことを願っています。



3. 今後の課題

予想以上に多くの方に来ていただきました。そのため会場に入りきれなかった参加者もあり、更に規模を大きくした取り組みを行う必要がありました。今回開催した行事には、小さいお子さんを連れてこられる親御さんや高齢者の方、ボランティア団体や相談事業所といった支援者の方も参加してくださいました。こうした方々との交流や連携を進めていくことは、包括的な支援ネットワークの発展へ繋がっていく可能性があると思います。包容力のある優しい地域づくりに貢献できればと、思っています。次回は、今回の行事で出会った方たちと共に、年間を通した事業を計画し展開していきたいと思っています。

* 今回の地域交流行事は、歳末たすけあい募金の助成金交付事業です。

〒193-0944 東京都八王子市館町 25-1 NPO 法人にんじんの家 本部事務局